



2018年6月29日

発行 熊谷高校 SSH 事務局

○6月16日(土) 英語による研究発表会 Kumagaya English Expression Network [KEEN]

6月16日(土)熊谷市立市民ホールにて、熊谷高校・熊谷西高校合同の英語による研究発表会が行われ、本校からは科学系部活動、英語愛好会にSBHS参加者が、様々な研究発表に英語で挑戦しました。今年からKumagaya English Expression Networkと銘打ったこのイベント、頭文字をとると“KEEN”という実際に存在する英単語になりますが、日本語にするとどんな意味になるのでしょうか？日本語の「キーン!」という擬音語の尖ったイメージと少し共通するところがあり、KEENには「鋭い・機敏な・熱心な」などの意味があります。この単語の表す通り、当日の会場では、口頭・ポスター発表者からは熱心な説明があり、各校のALTや大学の先生方からは鋭い質問が飛び交い、英語愛好会の司会も機敏な判断でスムーズな発表会の進行をこなしてくれました。



前半のポスターセッションでは、熊谷高校と熊谷西高校から科学系に社会系まで幅広く21本もの紹介があり、それぞれのブースで質疑応答が行われました。後半の口頭発表では、1年の須永隼世くん・松本流空くんの司会のもと、地学分野から3年木村龍輝くん、物理分野から、2年の栗原悠輔くん・島田和彦くん、化学分野から3年岡 紘史くん・大橋光貴くん・山崎隆蔵くん、星野圭亮くんの発表があり、大学や高校の先生方からの質問にも果敢に答えていました。

鈴木パーカー明日香先生の講演では、「英語で科学しよう」という内容で、英語を学び、科学・研究を英語で行うことが、広い世界や新しい可能性を開いてくれることを伝えて頂きました。

英語の発表は準備の通りできて、質疑応答を英語で行うことには難しさを感じた参加者も多く、英語の実践への動機が高まったとする参加者や、他校との互いの研究発表を聞くことが刺激になったとする意見も聞かれました。

参加者の感想より

・英語を話せる貴重な時間でした。とても良かったです。リサーチした情報をポスターにどのようにまとめるかが重要だと思いました。

他校のポスターは手が込んでいて素晴らしいかったです。

・発表会に参加して、「これから自分は何についての研究をしようか」と考える機会になり、研究に取り組む動機が高まった。

・今回自分は発表ではなく、司会と見学に来ました。それでもネイティブの方々の英語や、先輩や他校の発表を聞くことで、英語での発音や新しい知識を英語で知ることができました。また、聞き取れないこともあったので、毎日少しずつ英語に触れていければと思いました。

